

活動中

お邪魔しました ～野田相撲甚句会～

日本の国技である大相撲と共に、江戸末期の頃から流行ったとされる相撲甚句は文化伝統の一つとして親しまれています。唄って感激！聴かせて感動！をモットーに施設へのボランティア活動も積極的に行っている団体です。

全日本相撲甚句協会
発表会として



平成 15 年に設立され、今年で十周年。メンバーは現在 10 名でももちろん相撲好きもいるが、相撲甚句そのものが大好きで始めた方が多いそうです。

今回は「ケアパートナー野田」のデイケア訪問にお邪魔しました。当日は 6 名（男性 5 名、女性 1 名）のメンバーが参加。前半は、相撲甚句会が「花づくし」、「きゅうりとかぼちゃ」、「鶴と亀」、「野田名所」等自慢の喉を披露し、後半は「相撲甚句会」の指導のもとデイケア利用者（約 30 名）さんも一緒に「東京名所」を歌い楽しみました。

相撲甚句の歌詞にはユーモアがあり、ニヤリとしてしまう場面もしばしば。拍子木の伴奏と「はあ～、どすこい、どすこい！」「ほいっ！」という調子の良い掛け声で相撲甚句は盛り上がります。この掛け声は親しみやすく、始めから楽しそうに唇を動かす方もいらっしやいます。そして、唄と合いの手 2 つのグループに分かれて、練習が進むにつれ皆さんの調子も良くなり、オリジナルの掛け声まで飛び出すほどでした。

ボランティア活動をやっていると良かったとメンバーが感じるの、お客さん（デイサービスの方や町会の方等）が段々乗ってきたなと感じる時だそうです。相撲甚句会では愛好者の拡充に取り組んでおり、新しい仲間大募集中！との事でした。



甚句の音が響きわたって♪



おしらせ



「秋のじょいんと」報告

11月24日（土）野田市総合体育館で「秋のじょいんと（知的障がい者のみなさんとボランティアの集い）」が行われました。NPO 野田レクリエーション協会の協力のもと、恒例の玉入れや踊りなどで身体を動か

かし、みんなでレクリエーションを楽しみました。今年はカローリングなどの新しい種目も登場しました。

かご目掛けてジャンプ



要約筆記奉仕員養成講座終了

平成 24 年度野田市要約筆記奉仕員養成講座（基礎課程 16 回と応用課程 10 回）が 12 月 10 日閉講式を迎えました。応用課程が野田市で開催したのは今回が初めて。9 名の方が受講を終了され、2 月実施される千葉県要約筆記奉仕員登録試験に向けて猛勉強中です。皆様の合格を心よりお祈りしております。

ボランティア受入れ施設へのお願い

ボランティアセンターでは、ボランティア活動状況表により施設にてボランティア活動をされている団体及び個人の活動状況を把握しています。

お忙しい中大変申し訳ございませんが、2 ヶ月に一度、ご提出のご協力を引き続きお願いいたします。

総合福祉会館臨時休館日

1月19日（土）～1月21日（月）

*高圧ケーブルの改修工事のため

野田市社会福祉協議会及び野田市ボランティアセンターも休館となります。

寒い日が続きます。
健康に留意して
お過ごし下さい。

ボランティア休日相談

3月30日（土）9時～17時

ボランティア活動をしたい方。

平日はボランティアセンターに行けない方。

日ごろのボランティア活動のご報告や相談など

お気軽にお立ち寄り下さい。

電話でのご相談も OK。

お問合せ 04-7124-3939